

QAW Ver.3.4 正誤表

2008年4月2日 クオリティ株式会社

マニュアルの内容に誤り、追記事項があります。下記、正誤対象表をご覧ください。

■ 導入・メンテナンス編

ページ	見出し	誤		正
New 15	ホストの対応OS 表内「Windows」の詳細バージョン	Windows Vista Vusiness (32ビットバージョン)	→	Windows Vista Business (32ビットバージョン)
New 15	メモリ使用量 表内「QPオプション： QND.D.EXE」の状態とメモリ	QNDエージェント実行時：1MB 通常：300KB	→	最大4MB
New 15	メモリ使用量 表内「Switch User：SWUSR .EXE」の状態とメモリ	QNDエージェント実行時（管理者 権限を使用）：500KB 通常：400KB	→	最大4MB
New 15	メモリ使用量 表内「RCオプション： acpcd.exe」の状態とメモリ	リモートコントロール時：10MB リモートコントロール（圧縮表示 モード）：8MB 通常：2.5MB	→	最大15MB
New 16	メモリ使用量 表内「qndlogon：qndlog on.exe」の状態とメモリ	デスクトップスタンプ表示時： 220KB 通常：120KB	→	最大3MB
New 16	メモリ使用量 表内「QNDエージェント： qnda0.exe」の状態とメモリ	QNDエージェント実行時：4MB	→	最大25MB
New 79	ホスト側の操作 表内「CD」の引数	-f2"インストーラのログファイ ルのパス"	→	-s -f2"インストーラのログ ファイルのパス"
New 79	ホスト側の操作 表内「CD」の設定例	D:¥CLIENTINSTALLER¥jp¥client ¥setup.exe -f2C:¥Temp¥set up.log	→	D:¥CLIENTINSTALLER¥jp¥client ¥setup.exe -s -f2C:¥Temp¥set up.log
New 107	2-4. ホストのバージョン アップ 注意:RCオプションをイン ストールしているホスト	右の記述を追加	→	QNDサーバをVer. 3.4にバージ ョンアップした場合は、ホストのRC オプションも必ずVer. 3.4にバー ジョンアップしてください。 RCオプションのバージョンが QNDサーバのバージョンと異 なる場合、リモートコントロール が行えません。
New 146	5. iAMTを利用するための 設定	17 「DHCP Enabled」にチェック を入れます。(推奨)	→	17 「DHCP Enabled」にチェッ クを入れます。(必須) ただし、QAW Ver. 3.4 vPro機能 強化版をご利用の場合は、必須 ではありません。詳細は、 『QND/QAW -vPro機能強化版 追 補マニュアル-』を参照してく ださい。
New 146	5. iAMTを利用するための 設定	18 「DHCP Enabled」のチェッ クを外した場合は、「IP Address」、「Subnet Mask」、 「Gateway Address」、 「Preferred DNS Address」、 「Alternate DNS Address」 の値をそれぞれ設定しま す。	→	<削除> ※QAW Ver. 3.4 vPro機能強化 版をご利用の場合は、「DHCP Enabled」のチェックを外し ても運用可能です。詳細は、 『QND/QAW -vPro機能強化版 追補マニュアル-』を参照し てください。

ページ	見出し	誤	正
New 146	5. iAMTを利用するための設定	<p>▼ ヒント</p> <p>QNDでiAMT対応クライアントを管理するためには、マザーボードで設定されているIPアドレスと、Windowsで取得されるIPアドレスが一致している必要があります。両者が一致しない場合は、QNDによるインベントリ参照や、電源コントロールは行えません。</p>	<p>▼ 注意</p> <p>QNDで、iAMT機能によるインベントリ参照や、電源コントロールを行う場合は、マザーボードのIPアドレスとWindowsのIPアドレスをDHCPにする必要があります。</p> <p>ただし、QAW Ver. 3.4 vPro機能強化版をご利用の場合は、その限りではありません。詳細は、『QND/QAW -vPro機能強化版 追補マニュアル-』を参照してください。</p>

■ 運用編

ページ	見出し	誤	正
New 125	レジストリ情報を収集する	<p>▼ 注意:[管理者権限で取得する]にチェックを入れた場合</p> <p>「HKEY_CURRENT_USER」は、SUによって切り替えられた管理者アカウントの情報が収集されます。</p>	<p>▼ 注意:[管理者権限で取得する]にチェックを入れた場合</p> <p>Windows XP、Windows Vistaの場合、「HKEY_CURRENT_USER」の情報が収集できません。</p> <p>その他のOSで「HKEY_CURRENT_USER」の情報を収集した場合、SUによって切り替えられた管理者アカウントの情報が収集されます。</p>

■ リファレンス

ページ	見出し	誤	正
New 123	8-2. 「インストールするソフトウェアのプロパティ」 - [セットアップ] タブ 表内 「セットアッププログラム名」の説明	<p>ファイルをローカルパスで指定した場合は、ホストのローカルディスク上のファイルと解釈されます。</p>	<p>「インストールファイルのアクセス方法」で、[ネットワークドライブを利用] にチェックを入れた場合に、ファイルをローカルパスで指定した場合は、ホストのローカルディスク上のファイルと解釈されます。</p> <p>「インストールファイルのアクセス方法」で、[クライアントにファイル転送] にチェックを入れた場合に、ファイルをローカルパスで指定した場合は、QNDサーバ上のファイルと解釈されます。</p>
New 123	8-2. 「インストールするソフトウェアのプロパティ」 - [セットアップ] タブ 表内 「転送元ディレクトリ」の説明	<p>右の記述を追加</p>	<p>インストールなどで、「セットアッププログラム名」に入力した実行ファイル以外のファイルが必要な場合に入力します。</p>

ページ	見出し	誤	正
New 127	<p>「ファイル/ディレクトリのコピーのプロパティ」 表内「転送元ファイル名(転送元ディレクトリ名)」の説明</p>	<p>右の記述を追加</p>	<p>▼ 注意:ファイルサーバからのファイル転送</p> <hr/> <p>転送元ファイル名(転送元ディレクトリ)として、ファイルサーバ上のファイル(ディレクトリ)を指定する場合、ファイルサーバへのアクセス認証が不要な状態にしておいてください。</p> <p>または、ホストのログオンユーザがファイルサーバにアクセス可能である場合に限り、「オプション」で「転送元へのファイルアクセスはエージェントが直接おこなう」にチェックを入れると、ファイルサーバへのアクセスが成功します。</p>
New 127	<p>「ファイル/ディレクトリのコピーのプロパティ」 表内「比較先ディレクトリ名」の説明</p>	<p>右の記述を追加</p>	<p>ローカルパスで指定すると、ホストのローカルディレクトリと解釈されます。</p>